

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Yくまーず未来 春日井ぶち		公表日		2025年 7 月 25 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		活動内容や利用者数に合わせてグループ分けや部屋分けをして工夫をしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		活動内容や利用者数に合わせてより多くの人員を配置できるよう配慮しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		事業所内はバリアフリー構造になっています。分かりやすく集中しやすい環境にするため掲示物を減らすなどの工夫をしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日、清掃や消毒を行い清潔な環境に心がけています。活動内容や利用者数に合わせて机やイスの配置を工夫しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		状況に応じてパーティションで仕切りをつくり個別に近い環境をつくる工夫をしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		朝と帰りのミーティングで、利用者と保護者等の意向やその日あったことについての情報共有と、問題点等の対策や改善方法について話し合い、検討をしています。目標設定と振り返りは毎月行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現状は第三者による外部評価は行われていません。必要に応じ実施を検討したいと思います。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修は実施されています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		職員全員で話し合い作成してる。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		利用に際しての見学、体験時に保護者面談を行いニーズを把握したり行動観察を記録し、児童発達支援計画書を作成しています。また計画内容については全職員間で話し合い決定しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援計画内容を職員間で共有し、計画に沿った支援を心がけています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		日々の行動観察や、外部にて実施された発達検査の結果等にて発達状況を把握し、支援計画に活かしています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに即した支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		全職員で行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		活動の課題内容を少しずつ発展させていくことで楽しみながら発達を促すようなプログラムを組んでいます。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		小集団活動と個別レッスンを組み合わせて一人ひとりの発達に応じ個別の課題と集団適応・社会性の課題を支援に取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		開催される場合には、児童発達支援管理責任者が出席しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じ関係機関と支援内容について情報共有しております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様からのご要望に応じて対応させていただいております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		小学校等より情報共有を求められたことはありません。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-	-		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		相談支援員と個々のケースについての情報共有を行っているが、助言を受けたことはない。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		実績はありません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の送迎の際にお子さまの状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニング等の家族支援プログラムの実績はありませんが、要望に応じて面談を行っております。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明させていただいております。また不明な点には随時職員が説明を行っております。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時、定期的なモニタリング時に確認する時間をしっかりと設けております。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		契約時、定期的なモニタリング時に丁寧に説明をし、保護者様から同意をいただいております。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的なモニタリング時に相談の時間を設けております。またご希望に応じて相談を受け付けております。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会は実施しましたが、今後ご要望に応じて開催を検討します。親子遠足、Yくまフェスティバルなど他事業所と合同で開催することにより、保護者同士、きょうだい同士が交流する場を提供しております。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談の申し入れがあった場合、電話やLINE、面談にて迅速かつ適切に対応するよう務めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月1回ぶち通信を発信し、行事予定をお伝えしております。必要に応じLINEを利用して連絡事項等の情報を発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しております。また使用する書類についても必要以上に目に触れないよう扱っております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ことばと共に見て分かりやすい絵カードを使用するなど伝達方法を工夫したり、伝わる方法をお子さまや保護者様に合わせるようにしております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		会場を地域の企業に提供していただきお祭りを開催しております。地域住民を招待する等の企画については必要に応じて検討していきたいと思っております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		保護者様への周知、職員の訓練が十分でないところがありますので改善していきたいと考えております。	保護者様への周知、職員の訓練が十分でないところがありますので改善していきたいと考えております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		訓練が十分でないところがありますので、改善していきたいと考えております。	訓練が十分でないところがありますので、改善していきたいと考えております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		保護者様のご記入された健康状況票により把握しております。また必要に応じて聞き取りを行っております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがあるものについては、おやつや活動の材料に取り入れられないようにしております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全に配慮した支援を心がけております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ご家族への周知が足りてないと思われます。	ご家族へ周知するよう改善していきたいと考えております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの内容を職員ミーティングで共有し、再発防止のための対策を話し合っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を実施し、適切な対応を心がけております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に保護者様にしっかりと説明し了解していただいております。		